

▽支庁別川花防支庁別川3
号えん堤改良(遠軽町) 〓
①既設ダムスリット②二八
〇③7月中旬

▽置戸福野北見線総交街改
七〇号、突堤二五②二一

③入札執行済

▽佐呂間地区宮武士若里漁
方以②一二五③7月中旬

▽向陽清里停線二交278交安
(清里町) 〓①道路舗装橋
区(遠軽町) 〓①路盤・舗
装一、三一〇号②一九〇③

テ・ン・ク夏新一 C C C 斗 表ナノCル 函集②一・二・C
③7月中旬

▽遠軽雄武線特1道州3工
区(遠軽町) 〓①路盤・舗
装一、三一〇号②一九〇③

北央道路工業(株) (札幌、
澤口二郎社長) は二十二
日、札幌建管発注の「当別
浜益港線ほか舗装(道債)」
工事現場で、MC(マシン
コントロール)を切削機に
応用した情報化施工を披露
した。同社によると切削機
への応用は道内で初めて。

TS(トータルステーション)を活用した三次元MCシステムは、丁張りをしなくとも三次元設計データをもとに自動で設計面とおりにマシンを制御する技術で、路盤・路床の敷均しなどで活用されている。

同社ではこれを切削機に応用。(株)トプコンソキアポシシヨニングジャパン(札

北央道路工業が道内初 3次元MCを切削機に応用

幌)のNETIS登録技術 動させる。

「三次元マシンコントロールシステム3D-MC」の出張所の山田恵一監督員らと、今日和(株)(北広島)の切削機「SAKAI ER 二五区間の切削を実施。552F」を活用し、舗装の切削に情報化施工を取り入れた。この日は、札幌建管当別町で試験施工を重ね、当別町の破片を勢いよくトラックへと飛ばしながら着実に切削機による情報化施工を導入した。山田監督員は「初めての試みであり、精

岩見沢にある自社プラントで試験施工を重ね、当別町で施工中の当別浜益港線ほか舗装工事に二十一日から切削機による情報化施工を導入した。山田監督員は「初めての試みであり、精

より高精度な成果品を

施工の流れをみると、百度管理や品質管理の面からおおいに期待している」と話していた。

同社では切削機への応用について「従来は計画した切削深さを頻繁にマーキングし、オペレータは、単位ごとの基準点を設置し路線測量を行った後、レーザープロファイラーで二十センチごとに横断測量を行い、施工基面高や横断勾配を計画して切削・表層体積を求め三次元設計データを作成。

切削機に制御機器やセンサーを取り付け、三次元設計データを入力。切削機は位置の割り出しのため切削機の現在地を二つの基準点から自動追尾TSで測定。オペレータはコントロールボックスのモニター上で切削機の向きと高さを確認し、切削機の制御機器を作

